

道内初！苫小牧港における LNG バンカリングトライアルの実施 ～苫小牧港における LNG バンカリング拠点の形成促進～

苫小牧港管理組合

苫小牧港管理組合ならびに石油資源開発株式会社（以下「JAPEX」）は、苫小牧港西港区北ふ頭において、Truck to Ship*方式による LNG バンカリングトライアルを9月8日に実施しました。

本トライアルは、LNG 燃料の供給先である LNG 燃料タグボート「いしん」を保有する株式会社商船三井と「いしん」を運航する日本栄船株式会社、海事コンサルティングを行う MOL マリン&エンジニアリング株式会社の協力の元、実施しました。

2019年～2020年にかけて、苫小牧港管理組合と JAPEX は「苫小牧港 LNG バンカリング検討会」を開催し、苫小牧港における LNG バンカリングの実施方式ごとの課題の洗い出しとその解決方法の検討、適用法令の確認などを行いました。

本トライアルの実施により、検討会の検討内容のうち、Truck to Ship 方式（日本石油輸送株式会社に

LNG ローリー輸送を委託）による LNG バンカリングの具体的な検証ができたことに加えて、苫小牧港において LNG バンカリングを実施する際の手続きスキームや必要インフラ等、より実践的な内容について知識と経験を蓄積することができました。

本トライアルの実績などをもとに苫小牧港における LNG バンカリング拠点の形成を促進することにより、船舶からの温室効果ガス（GHG）や硫黄酸化物（SOx）の排出量削減への貢献や、今後の苫小牧港における LNG バンカリングの早期実現への寄与に向けて取り組んで参ります。

*注）Truck to Ship とは、LNG 燃料を供給可能な岸壁に着岸した天然ガス燃料船へ、陸側の LNG ローリーから LNG 燃料を供給する LNG バンカリング実施方式の一つ。

